

東京フィルムメックスコンペティション

TOKYO FILMeX COMPETITION

世界的に大きな注目を集めるアジアからは、才能ある新鋭たちが次々と登場しています。そんなアジアの新進作家が2018年から2019年にかけて製作した作品の中から、10作品を上映します(7月20日の国名は主要製作国)。また5名からなる国際審査員が、最優秀作品賞と審査員特別賞を選び、11/30(土)に行われる授賞式で発表します。

昨夜、あなたが微笑んでいた

Last Night I Saw You Smiling
カンボジア、フランス / 2019 / 77分
監督:カン・ソウ・イェツ (NEANG Keatich)



歴史的建造物として知られたアンソベの集合住宅(ホウム・ト・ビル)でインゾリ。取り壊し直前のこのビルにカメラを持ち込み、そこに暮らす人々ととらえたドキュメンタリー。ロケットフィルム映画祭でNETPAC賞(アジア映画賞)を受賞した。

©2019 Art-Kinema. All Rights Reserved.

評決
Verdict
25日15:40 (A)
27日21:15 (H)

フランス / 2019 / 126分
監督:リム・ランド・バハ・ラ・アエス (Rajmund Riba) GUTIERREZ



ドキュメンタリー・バイオエンスの問題を正面からとらえた作品。日常的に暴力を振るう夫を訴える女性の戦いを臨場感溢れる映像で描く。フュラント・メン・プ・サガフロ・デュース、ヴェネチア映画祭トリビュネ部門で審査員特別賞を受賞。

気球
Balloon
26日18:40 (A)
27日9:50 (A)

中国 / 2019 / 102分
監督:ペリョ・エテン(Pema Tseeden)



大草原に暮らす家族を主人公に、一人一ツ政策が人々に与える影響をチベット文化の視点から描いた作品。ペリョエテンの前作『離き殺された羊』の主人公を演じたジツバが父親役を演じる。ヴェネチア映画祭トリビュネ部門で上映された。

波高(はこご)
Height of the Wave
26日21:15 (H)
29日12:50 (A)

韓国 / 2019 / 94分
監督:バク・ジョンボム(PARK Jung Bum)



『ムソウ日記/白い矢』のバク・ジョンボムの監督第3作。過疎化が進む小島に赴任した女性警官の目を通して外界から開きされた村社会に生きる人々の間にうずく欲望を鋭く抉り出した作品。ロカルノ映画祭で審査員特別賞を受賞した。

2019 Secondhand Film All rights reserved.

つつんで、ひらいて
Book-paper-covers
24日11:30 (A)

日本 / 2019 / 94分
監督:広瀬麻衣子 (HIROSE Nanako)



『夜明けの広瀬麻衣子監督がフランクザインの第一人者、獨逸信義をもったドキュメンタリー。デジタル全盛の時代にあって紙の書籍にこだわリ、手作業でデザインを行う獨逸の仕事の工程を見ながらもつくりの原点を探る作品。』

©2019 つつんで、ひらいて、製作委員会

水の影
Shadow of Water
27日15:30 (A)
28日21:15 (H)

インド / 2019 / 120分
監督:サナル・クマール・シヤ・シヤラン(Sanal Kumar SAsidHARAN)



マラヤラム語映画界の俊英シヤランがインドの女性問題を3人の登場人物に凝縮して描いた問題作。若い男がガールフレンドを連れ出し、先輩格の男の運転する車でドライブに出るが……。ヴェネチア映画祭トリビュネ部門で上映。

熱帯雨
Wet Season
25日21:15 (H)
27日18:40 (A)

シンガポール / 2019 / 103分
監督:アンソニー・チェン (Anthony CHEN)



『イロイロ/ぬくもりの記憶』以来となるアンソニー・チェン待望の監督第2作。前作のキャストを再び起用し、中学生と女性教師の間の感情の揺れ動きを繊細に描く。トロント映画祭のプラットフォーム部門でワールド・プレミア上映された。

ニーナ・ウー
NINA WU
26日15:40 (A)
30日21:15 (H)

台湾、フランス、ミャンマー / 2019 / 103分
監督:ミチ・ウー (MIMI Z)



ハルウッドを離脱させたMe Too 問題に觸発された作品。台湾映画界を舞台に主役の座を対峙したものの精神的に追い詰められる女優を描く心理サスペンス。ミチ・ウー作品の常連ウー・カーシャが脚本兼主演を務めた。カンヌ映画祭、ある視点」で上映。

春江春暖
Dwelling in the Fuchun Mountains
24日17:50 (A)
28日12:20 (A)

中国他 / 2019 / 154分
監督:グー・シーヤオカン(GU Xiangang)



杭州の富麗の美しい自然を背景に、一つの家族の変遷を悠然と描いたグー・シーヤオカンの監督デビュー作。絵巻物を鑑賞しているかのような機移動のカメラワークが鮮烈な印象を残す。カンヌ映画祭批評家週間のクロージングを飾った。

静かな雨
Japan / 2019 / 99分
監督:中川雅太郎 (NAKAGAWA Ryutaro)

京都:Tokyo New Cinema



宮下奈都のデビュー小説を仲野太賀とこれが映画初出演となる斎藤美彩の主演で映画化した作品。大学の研究助手の行跡と調壊二星屋を経営するこよみ。親密になりかけた二人の関係はこよみが交通事故に会ったことをきっかけに断絶する……。

© 2019 静かな雨、製作委員会、宮下奈都、文芸春秋

東京フィルムメックス観客賞

映画をご覧になった皆さんの投票によって選出される観客賞。東京フィルムメックスコンペティションおよび特別招待作品、特別上映作品が対象になります。(11/30(土)午後終映の作品まで)
ご来場の皆様は是非ご参加ください。

特別招待作品

SPECIAL SCREENINGS

今年も映画の最先端を切り拓いてゆく、気鋭の監督たちのとびきりの新作をご紹介します。いずれも強烈な作家性が発揮された、これらのバリエーション豊かな作品からは、映画の多彩さがうかがえるでしょう。

カミソング・ホーム・アゲイン (クロージング作品)
Coming Home Again
30日18:50 (A)
12月1日21:15 (H)

アメリカ、韓国 / 2019 / 86分
監督:グエイ・ウング (Wayne WANG)



韓国系アメリカ人の作家が太陽日のパーティーに備えて母親から韓国料理のレシピを教わる。そして彼の祖実人生における幾つかの瞬間がよみがえる……。在米アジア人の家族を何度も描いてきたグエイ・ウングの新たな傑作。トロント映画祭で上映。

グエイタリナ (仮題)
Vitalina Varela
28日18:20 (A)

ポルトガル / 2019 / 124分
監督:ペドロ・コックス (Pedro COSTA)



出稼ぎに行った夫が死んだことを知らされ、カーボ・ヴェルデからポルトガルにやってきた女性。前作『ホーム・スベニー』にも出演したグエイタリナ・ウレラ主演。陰影の濃い映像で描かれるヒロインの悲しみが響く者の心を打つ傑作。ロカルノ映画祭で金豹賞と女優賞を受賞。

夢の裏側〜ドキュメンタリー・オン・シャドウプレイ
A Documentary on the Shadow Play
23日21:15 (H)

中国 / 2019 / 94分
監督:ウー・イェンツウ (WU Yingzi)



検閲を始めとする多くの困難に見舞われ、完成までに数年を要した『シャドウプレイ』の製作の背景を準備期間から公開に返り記録したドキュメンタリー。監督はロウ・イェの妻であり共同脚本家でもあるウー・イェンツウ。

特集上映 阪本順治監督特集

FILMMAKER IN FOCUS SAKAMOTO JUNJI

今年でデビュー 30周年を迎える阪本順治監督のフィルムモグラフィから厳選した4作品を上映いたします。

鉄拳
Tekken
27日12:10 (A)

日本 / 1990年 / 128分
監督:阪本順治(SAKAMOTO Junji)



高知県を舞台に、事故で右腕を奪われたボクサーを再起させようとするジムのオーナーを描いた監督第2作。菅原久次と和武士が共演。超現実的とも言うべきラストの壮絶なフィナーレは必見。

©1990 / 写真提供:リリィレボ

KT
KT
30日10:00 (A)



日本、韓国 / 2002年 / 138分
監督:阪本順治(SAKAMOTO Junji)
1973年に起こった金大中事件を日韓合作で描いたポリティカル・サスペンス。事件に携々な立場から関わった人々の内面に鋭く迫る。佐藤浩市、キム・カフヌらが出演。ベルリン映画祭コンペティションで上映。

シャドウプレイ
The Shadow Play
23日18:10 (A)

中国 / 2018 / 125分
監督:ロウ・イェ (LOU Ye)



市当局の刑務所事業の責任者の死の謎を巡り刑事が何者の圧力かでその任を解かれる。香港に逃れた刑罰は、その謎の鍵を握る若い女性と恋に落ちるが…。中国と香港、台湾、またがる疑雲をスリリングな映像で描くミステリー。ベルリン映画祭パライラ部門で上映。

完全な候補者
The Perfect Candidate
29日18:40 (A)

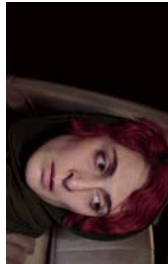
フランス、ドイツ / 2019 / 101分
監督:ハイク・パル・パレビ (Hajar PANAH)



『少女は自転車にのって、数々の栄誉を受けたハイブリッド・フィルム・ソノールの新作。男性優位のシステムに果敢に挑む女性医師を力強く描いた作品。ヴェネチア映画祭コンペティションで上映され、アカデミー賞国際映画賞のサウジアラビア代表に選ばれた。

ある女優の不在
3 FACES
24日21:15 (H)

イラン / 2018 / 101分
監督:シハ・パル・パレビ (Hajar PANAH)



女優志望の少女から自殺予告の映像を受け取った有名女優が少女の不安定な影のために田舎の村を訪れる。その旅の中、活動禁止された伝説的女優の愛が浮かび上がる……。ロードムービーの形式でイランの女性問題を描き、カンヌ映画祭脚本賞を受賞した作品。

FILMeX 関連イベントのお知らせ

11月28日(木) 13時から
タリソツ・トーキョー2019のオー・グン・キャンパスを開催します。
11月29日(金) 18時から
共催イベント:独立映画館×フィルムメックス企画2019
12/1 (日)一般公募批評の「振り返り合評会」
イベントの詳細は、公式サイトでご確認ください。

特別招待作品

SPECIAL SCREENINGS (FILMeX CLASSIC)

近年の上映環境の変化や技術の革新にあわせて、デジタルリマスター作業により過去の作品を現代に甦らせる試みが、世界各地で行なわれています。巨匠たちの名作や、映画史的に重要な位置づけにありながら上映の機会が限られていた作品をスクリーンで観ることが、(新作)に触れるような新鮮な驚きと喜びをもたらしてくれることでしょう。

大輪廻
The Wheel of Life
25日18:50 (A)
26日13:00 (A)

台湾 / 1983 / 105分
監督:キョウ・ユー・ワン、バク・シヨウ・パイ (King HU, LEE Heng, PAI Ching-Jui)



明朝、民国初期、現代の3つの時代にわたり、輪廻転生によって繰り返される三角関係がもたらす悲恋を当時の台湾映画界の巨匠3人が映画化したオムニバス映画。キョウ・ユーは淹を背景とするアクションが素晴らしい明朝編を担当。デジタル修復版で上映。

HHH:侯孝賢
HHH: A Portrait of Hou Hsiao-Hsien
12月1日14:00 (A)

フランス、台湾 / 1997 / 96分
監督:ジョナ・アエ・アエ・アエ (Olivier ASSAVALS)



世界の巨匠たちにインタビューを行ったフランスのTVシリーズ『我らの時代の映画』の1編。当時脚本執筆中だったフランク・アエ・シヤンハイについて語られる。映画のラスト、カラオケを熱唱するホウ・シヤオシェンの変は必見。



19世紀末上海の高級遊郭で繰り広げられる男女の関係を描写した中国文学の古典『海上花』をトニー・刘文を始めとするスーたちの競演で映画化した傑作を、本年Limagne Ritrovataでデジタル修復した素材で日本初上映。リー・ピンビンの見事な撮影も堪能できる。

©1992/2019 侯孝賢製作会社・松竹映画株式会社

フラーズ・オブ・シヤンハイ
Flowers of Shanghai
12月1日17:00 (A)

台湾、日本 / 1998 / 130分
監督:ジョナ・アエ・アエ・アエ (Hsiao-Hsien)

牛
The Cow
12月1日11:10 (A)

イラン / 1969 / 105分
監督:タリフ・ヌー・ル・ユエ (Dariussh MEHRJUI)



イラン映画史の金字塔と言われるメー・ル・ジュイの代表作をデジタル修復版で上映。可愛がっていた牛を失い、錯乱して自らが牛だと思い込んでしまう男が引き起こす騒動を描く風刺コメディ。主演はイラン映画界を代表する名優イザトラー・エンデザミ。

空山靈雨
Raining in the Mountain
23日15:20 (A)
26日10:20 (A)

台湾 / 1979 / 115分
監督:キョウ・ユー (King HU)



明朝時代の中国の仏教寺院を舞台に三蔵法師の経典をめぐる争奪戦を気品高いカンフー・アクションで描き、キョウ・ユー作品の一つの到達点とも言われる傑作。『山中傳奇』と同時期に韓国で撮影された。デジタル修復版で上映。

© 1979 L.A. Hu Co-Production Ltd. / ©2019 Taiwan Film Institute All rights reserved.

ふたりの人魚
Suzhou River
25日13:00 (A)

中国 / 2000 / 83分
監督:ロウ・イェ (LOU Ye)

第10回最優秀作品受賞。ロウ・イェの国際的な評価を確立させた傑作。主演は後に大スターとなるジョウ・ジュン。

息もできない
Breathless
29日15:30 (A)

韓国 / 2008 / 130分
監督:ヤン・イクサック (YANG Ik-june)

第10回最優秀作品賞。観客賞受賞。俳優としても圧倒的な存在感を局せるヤン・イクサックの鮮烈な監督デビュー作。

ふゆの獣
Love Addiction
28日10:10 (A)

日本 / 2010 / 92分
監督:内田靖雄 (UCHIDA Nobuharu)

第11回最優秀作品賞受賞。限られた時間と空間の中、4人の男女の感情が激しくぶつかり合う衝動的な傑作。

夜明け
His Lost Name
11/23(土) 10:10

日本 / 2018 / 113分
監督:広瀬麻衣子 (HIROSE Nanako)

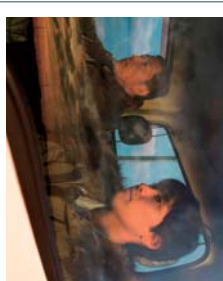
映画の時間プラス バリアフリー上映会

第19回東京フィルムメックスのコンペティション部門でスペシャル・メックスオンを受賞した『夜明け』のバリアフリー上映を行います。

会場：ヒューマン・トランス・アクト・シアター1
東京都千代田区有楽町2-7-1有楽町イトシア・イトシアラザ4F
料金：1,000円

※このプログラムは、東京フィルムメックスのほかの上映とチケット販売方法が異なります。詳細はホームページをご覧ください。

<http://filmex.jp/eiganojikan/>



©2019 夜明け、製作委員会